

2025年度 第1回長崎県がん診療連携拠点病院研修会

アンケート調査結果

【開催日】 2025年6月20日（金）

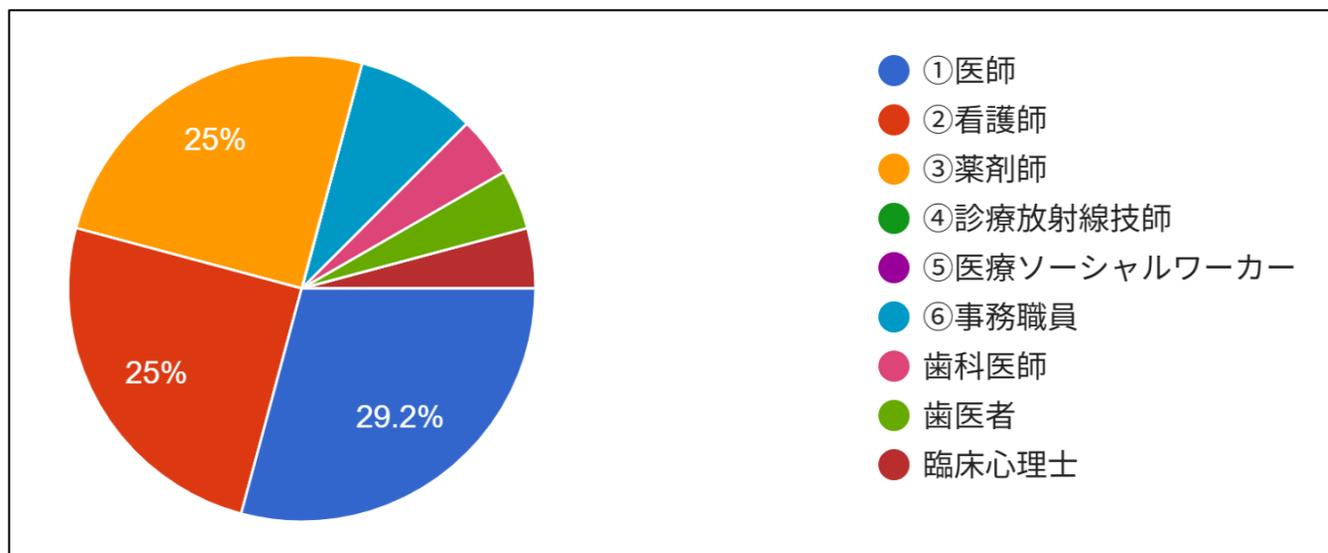
【時間】 18:30～20:00

【形式】 ハイブリッド開催（会場+オンライン）

【出席者】 80名

【回答者】 27名

※回答者割合は下記グラフのとおり



【出席者 内訳】

施設名 職 種	大学	みなと	佐世保市 総合	諫早 総合	原爆	佐世保 中央	島原	長崎 医療	他施設	合計
医師・歯科医師	14	0	1	0	5	0	0	1	6	27
薬剤師	0	0	0	0	0	0	0	1	7	8
看護師	13	0	1	1	1	0	3	0	4	23
放射線技師	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
理学療法士	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
管理栄養士	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3
臨床心理士	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
保健師	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
MSW	3	0	0	0	2	0	0	0	0	5
事務職員	5	0	0	0	0	0	1	0	2	8
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	37	0	3	1	8	0	5	2	24	80

【今回の講演について】

①よかったところ

- ・均てん化と集約化の現状がよく理解できた（医師）
- ・若尾先生より今回も最新の情報をいただくことができた（医師）
- ・なかなか知ることのできない他地域での工夫（やり方）を知ることができた（医師）
- ・詳細な情報提供（医師）
- ・勉強になりました（薬剤師）
- ・今後の日本の人口減少、超超高齢化社会等と医療の関りが学べたこと（薬剤師）
- ・長崎県の状況を他県と比較できた（医師）
- ・いくつかの都道府県の取組事例や集約化・均てん化の情報が把握できたこと（事務職員）
- ・分かりやすかったです（医師）
- ・国の最新の情報をご紹介頂いた点（医師）
- ・長崎県の現状や今後について知ることができました（看護師）
- ・長崎の実情が分かったところ（薬剤師）
- ・例年よりご講演のボリュームが幾らかコンパクトだったこと（医師）
- ・講演で使用されたデータが事前に提供されたこと（看護師）
- ・地域の実情を知ることができた（薬剤師）
- ・がん治療の均てん化を全国的に図ろうとする取組みが考えられていること（薬剤師）
- ・最新の状況と県内の現状課題が理解できてよかったです（臨床心理士）
- ・がん診療の問題点がよく分かりました（医師）
- ・詳細な内容のスライドが資料化されていたこと（看護師）
- ・がん治療は、より専門的になり診断治療と集約してくるものと考えられる（薬剤師）
- ・長崎の現状について認識が深まった（歯科医師）
- ・地域医療構想の中でも病院機能に応じての集約化を言われおり、がん医療においても同じように求められ、医療の分散化が進んでくるのかなあと思いました（看護師）
- ・他地域のことが分かった（事務職員）
- ・現場の状況がわかったこと（歯科医師）
- ・先生方の活発なディスカッションを聞くことができ、刺激になった（看護師）
- ・貴重な内容のご講演をいただいた。Webで参加しやすかった（看護師）
- ・他県の取り組みと長崎県内の実情の両方を知ることが出来たこと（医師）

②気になったところ

- ・集約化はなかなかハードルが高いですね（医師）
- ・がん登録を全数把握に近づけていくことの利点はどのようなことがあるのか知りたい。地方を置いてけぼりにしないということは理解できますが、実際に高いカバー率となっている沖縄県と、平均的な県でどのような差（利点と困り事）が生じているのか知りたいと思いました（医師）
- ・時間が長い、ネット環境の問題（医師）
- ・がん医療均てん化・集約化（薬剤師）
- ・自院で提出しているDPC情報はどのように活用されているのか知りたくなった（医師）
- ・各施設の診療実績のホームページ掲載様式がバラバラであることは、可能ならば厚労省の指示等で、都道府県

協議会主体でとりまとめて進めてほしいと思いました（事務職員）

- ・これから、大学病院をはじめとした長崎県の病院の動向（薬剤師）
- ・検査や治療に地域差があるところ（薬剤師）
- ・現在は住んでいる地域によっては医療資源が限られていること（薬剤師）
- ・拠点病院等の役割分担に基づく医療機関間の連携体制の整備（看護師）
- ・離島では今後、集約されるとがん治療をうけれなくなる可能性がある（薬剤師）
- ・行政で細かく目標を設定されているようだったが、芦澤先生からも指摘があったように、長崎は島が多く、集約できる部分とそうでない部分に限界があるため一律に集約化が進んでいないと評価されていることが疑問だった（歯科医師）
- ・地域の動向に応じて病院機能も変化していく必要があり、がん医療も集約化されることで、診療体制の件数にも影響があるかと思うので、がん拠点病院を維持していく上での不安がある（看護師）
- ・現場の状況が地域性もあり多少乖離してしますことの解消が難しいということ（歯科医師）

③講演に関する要望

- ・放射線治療の集約化の実例があれば教えてほしい（医師）
- ・前回の若尾先生に講演を聞いたのかどうか忘れましたが、前回の振り返りから話してもらえてよかった（薬剤師）

◆次回の講演で希望すること（内容、場所、日時など）

- ・現地は対面がいいかもしれませんが、その様子をWebハイブリッドにすることはいいと思います（医師）
- ・長崎に重量子線治療施設がないというお話は出たが、ない代わりにどうしているのか、など、具体的なことを入れてくださるといいと思います（薬剤師）
- ・移動中にスマホで視聴することがあるため、より音量の明瞭料が図られるとありがたいです（薬剤師）
- ・Hybrid開催がありがたいです（事務職員）
- ・18時30分まで勤務なので、もう少し遅い時間がいいんですが、Webなのでギリギリ間に合いました。これより早い時間であれば、参加出来ません（薬剤師）
- ・18:30は帰宅できていないので、できれば19時以降または土日祝日の開催であれば助かりますが（薬剤師）
- ・ネットワークを利用した遠隔治療など希望します（薬剤師）
- ・オンライン配信を継続していただきたい（歯科医師）
- ・勤務時間内を検討してほしい（事務職員）

◆がん診療センターに対するご要望をご記入ください

- ・これからも頑張ってください（医師）
- ・これからも頑張ってください（医師） 県主導でも長大主導でも良いので、離島のがん登録をスタッフ(登録業務の有資格者)を派遣してでも行うべき時期に来ていると考えます（医師）
- ・今後とも情報発信と連携方宜しくお願い致します（薬剤師）
- ・いつも様々な企画をありがとうございます。今後ともよろしく申し上げます（臨床心理士）
- ・免疫チェックポイント阻害剤はirAEによる副作用が多いように思います。新しい予防策などありましたらご教授頂きたいと思います（薬剤師）
- ・今後も講演会拝聴の機会を作っていただきたい（歯科医師）